

南海トラフ巨大地震が発生すると…

このマップは、南海トラフ巨大地震が発生した場合の岡山市の地震・津波を想定して作成しています。岡山市ではどんな被害が起こるのか確認しておきましょう。

最大震度

岡山市では南海トラフ巨大地震が発生した場合、最大震度6強が想定されています。

津波高さと同達時間

	中区 (江並付近)	東区 (水門町付近)	南区 (小串付近)
最大津波高	1.8m	2.5m	2.6m
津波同達時間	児島湖締切堤防に約2時間50分同達		

※潮位TP1.36mを含む

岡山市の被害想定

岡山市では建物被害、人的被害は最大で以下のような想定がされています。

- 建物被害…全壊：12,000棟、半壊：29,000棟
- 人的被害…死者：1,400人

マップの利用方法

津波は30cmの浸水で足を取られて身動きが取れなくなると言われています。そのため津波発生同恐れがある場合には、すぐに避難を開始しましょう。

1 住んでいる地域の危険性を確認しましょう

地図を確認し、津波による浸水や、土砂災害の危険性を確認しましょう。

2 わが家の防災メモを作成しましょう

家族と話し合い、災害時の約束事を決めましょう。

3 防災情報の入手先を確認しましょう

災害時にどこから情報を収集するべきか、確認しておきましょう。

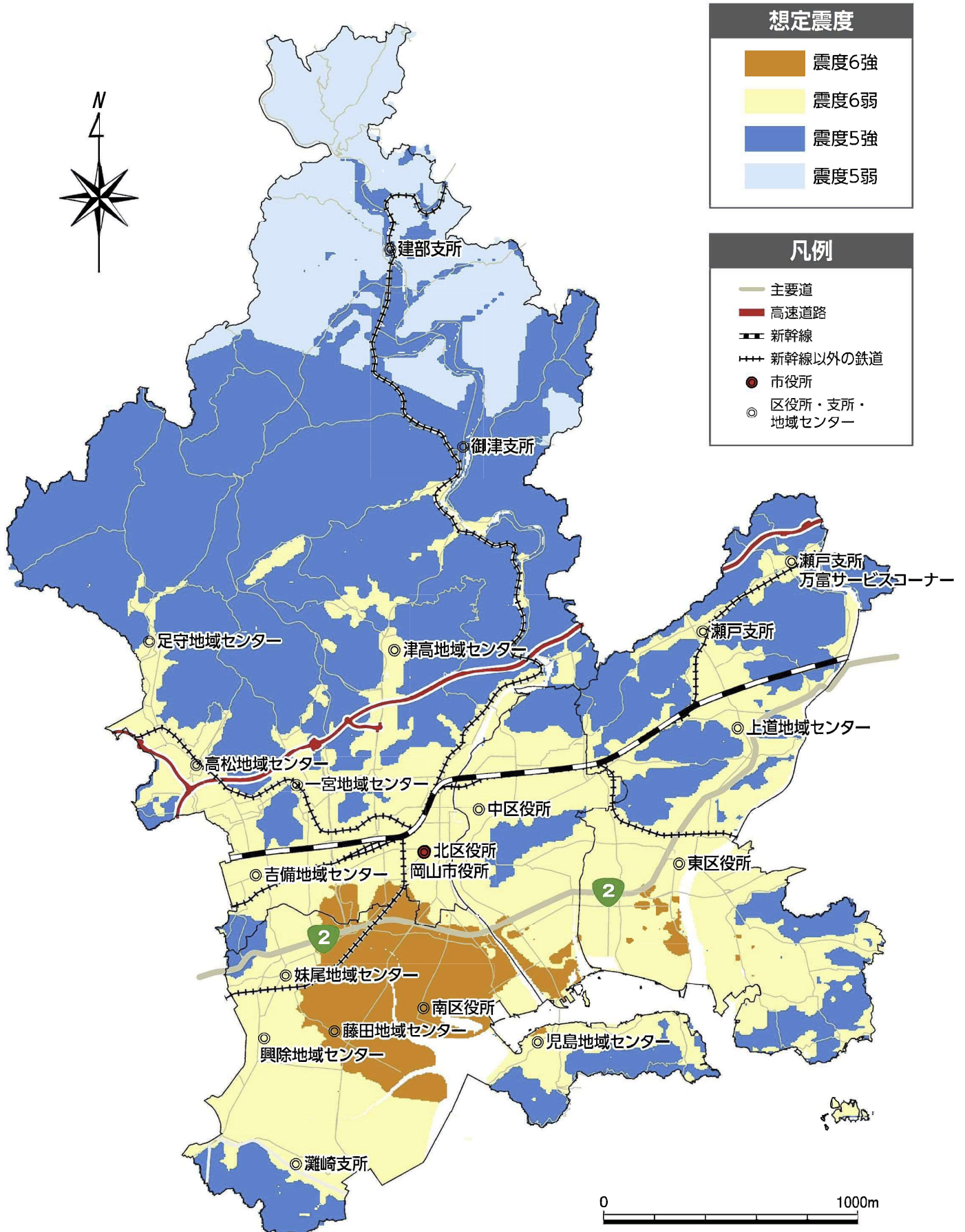
4 事前の準備を行いましょ

家具・家電などの固定、備蓄物資・非常持ち出し品の準備等を行いましょ。



岡山市震度分布

この震度分布は南海トラフ巨大地震が発生した場合、岡山市でどのくらいの震度が予測されるかを示したものです。



わが家の防災メモ

○家族の避難場所

○家族の集合場所(避難場所で会えなかった場合)

家族の連絡先

家族の名前	生年月日	携帯電話番号	血液型	会社・学校などの電話番号

いざというときの連絡先 ※災害時のみ開設

名 称	電話番号	名 称	電話番号
岡山市災害警戒(対策)本部※	086-803-1600	北区本部※	086-803-1850
中区本部※	086-901-1643	東区本部	086-944-5100
南区本部	086-902-3500		

災害用伝言ダイヤルの利用方法

地震や洪水などの大災害発生時は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。このサービスは、「声の伝言板」(安否情報)の役割をするNTTの電話サービスです。被災地内とその他地域の人々との間で、伝言の録音・再生を行うことができます。

※携帯電話各社でも同様のサービスを提供しています。

体験利用日

毎月1日・15日、正月三が日、
防災週間(8/30~9/5)、
防災とボランティア週間(1/15~1/21)

災害用伝言ダイヤル

1 7 1

ガイダンスが流れます

伝言の録音方法

- 1 「171」をダイヤル
- 2 「1」を押す
- 3 被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を「市外局番」からダイヤル
- 4 伝言を録音する

伝言の再生方法

- 1 「171」をダイヤル
- 2 「2」を押す
- 3 被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を「市外局番」からダイヤル
- 4 伝言を再生する

防災情報の入手先

岡山市の災害・防災情報はインターネットなどからも確認することができます。自ら防災情報を収集し、危険を感じたときには自主的に避難してください。※QRコードはデンソーウェーブの登録商標です。

岡山市防災メール

登録方法

- 1.右のQRコードを読み取る
- 2.空メールを送信する
- 3.サイトに従い登録する



避難所の混雑状況

避難所の混雑状況を発信します。右のQRコードを読み取って接続してください。



ラジオ

岡山シティFM [79.0MHz] (レディオMOMO) への割り込み放送を実施します。

岡山市公式SNS

- Twitter 「@okayama_city」
- LINE 「岡山公式LINE」
- Facebook 「桃太郎のまち」

テレビ

- ①NHK総合にチャンネルを合わせてリモコンのdボタンを押す。
- ②防災・生活情報を選択する。

その他

- 緊急地震速報メール
- 防災行政無線
- 広報車、消防団による広報
- 岡山市ホームページなど

大津波警報・津波警報・注意報

津波発生後、津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。

	予想される津波の高さ		想定される被害	とるべき行動
	数値での発表	巨大地震の場合の発表		
大津波警報 (特別警報に位置付け)	10m超(10m<高さ)	巨大	<ul style="list-style-type: none"> ●木造家屋が全壊・流失します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。 	沿岸部や川沿いにいる人は、高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
	10m(5m<高さ≤10m)			
	5m(3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	<ul style="list-style-type: none"> ●海拔の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。 	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
津波注意報	1m (20cm<高さ≤1m)	(表記しない)	<ul style="list-style-type: none"> ●海の中では人は速い流れに巻き込まれます。 ●養殖いかだが流出し、小型船舶が転覆します。 	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。

●地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」が発表されます。

地震発生

あわてず、自分の身を守る

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など、安全な場所に避難する。
- むりに火を消そうとしない。

周囲の状況を確認する

テレビやラジオなどで情報収集を行い、自宅などその場にとどまることが安全か確認する。

緊急地震速報を活用

- 最大震度5弱以上が推定された場合、テレビやラジオ、スマートフォン、携帯電話などを通じて発表されます。
- 速報発表から強い揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒しかありませんが、自分の身を守るために、最大限活用しましょう。

※震源が近い場合は、緊急地震速報が揺れに間に合わないことがあります。



津波の発生にそなえた避難行動の開始

- 浸水の想定がない所へ避難しましょう。
- 津波到達までに避難する時間がない場合は、津波避難ビルや頑丈で高い建物へ避難も有効です。

津波警報等の解除により、地域の安全を確認

自宅に被害がない場合

自宅へ帰宅

自宅が倒壊などの被害にあった場合

親戚や
知人宅へ避難

岡山市が開設する
避難場所兼避難所へ避難



津波から避難する5つのポイント

- 1 地震の揺れの程度で自ら判断しない
- 2 より「高く」、より「遠く」へ
- 3 「ここには津波が来ない」という俗説を信じない
- 4 原則、徒歩で避難
- 5 引き潮がなくても津波は襲う

参考

東日本大震災に使われた津波避難の三原則
(岩手県釜石市の津波防災教育より)

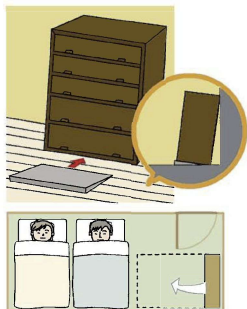
- 1 「想定にとらわれるな」 相手は自然、想定を超えることもある
- 2 「最善を尽くせ」 「ここまで来れば大丈夫だろう」ではなく、そのときにできる最善の行動をとる
- 3 「率先避難者たれ」 自分が率先して避難する。その姿を見て、他の人も避難することになる

事前の準備をしよう

地震によって建物が倒壊しない場合でも、大きな家具の転倒やガラスの飛散などにより、ケガをしたり、とじこめられたりするおそれがあるので、今すぐ地震対策をしましょう。

置き方に工夫を

- 出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。
- 地震のときに家具などが就寝部分に倒れたり、避難通路をふさぐ位置に配置しないようにしましょう。



ガラスの飛散防止を

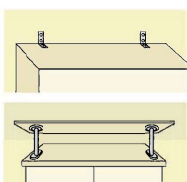
ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。手近な取り出しやすい所に運動靴などを用意しておくと、災害時の足のケガを防止できます。



耐震金具の利用を

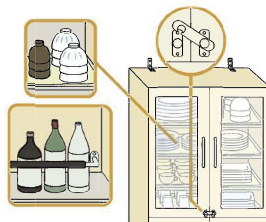
転倒防止金具

壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、天井などに固定するタイプがあります。



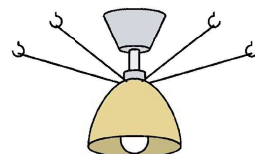
扉・引き出し開放防止金具

地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定します。



照明器具の補強を

吊り下げ式蛍光灯は、チェーンなどで止めておきましょう。



非常持ち出し品

避難が必要になった場合に備えて、非常持ち出し品を準備しましょう。また、マスクや体温計など感染症対策に必要なものを用意しましょう。持ち出し品はリュックサックなどにまとめて、いつでも持ち出せる場所に保管しておくとい良いでしょう。

<p>食料</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 非常食 <input type="checkbox"/> ペットボトルの水 (500mlサイズ) <p>日頃から、7日分の食料と飲料水を、非常備蓄品として常備しておきましょう。</p>	<p>衣類など</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 防寒着・雨カッパ <input type="checkbox"/> 軍手・手袋 <input type="checkbox"/> アイマスク・耳栓 	<p>貴重品</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現金 (小銭を含めて) <input type="checkbox"/> 通帳、印鑑 (通帳とは別々に保管) <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 免許証・お薬手帳など <input type="checkbox"/> 家・車の合鍵
<p>救急・安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 医療品 (薬・消毒液・ばんそうこうなど) <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 体温計 	<p>日用品など</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 筆記用具 (油性ペン・ノート) <input type="checkbox"/> LEDヘッドライト・懐中電灯 <input type="checkbox"/> 乾電池 <input type="checkbox"/> 携帯電話 (充電器・モバイルバッテリー) <input type="checkbox"/> FM・AMラジオ <input type="checkbox"/> 眼鏡・コンタクト <input type="checkbox"/> 洗面用具 (歯みがき・洗顔セット・タオル大小など) <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ・除菌シート <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 防寒保温シート 	

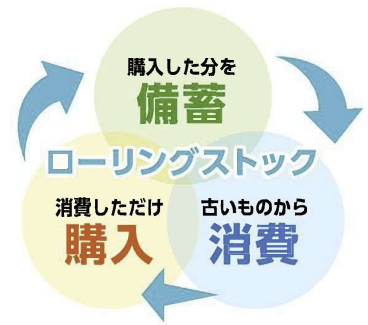
備蓄品

災害復旧までの数日間 (7日間程度) 自ら生活できるように準備しておきましょう。被害を受けにくく、非常時でも取り出しやすい場所に保管しておくとい良いでしょう。

<p>食料</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 水 (飲料用1日分は3L×家族の人数) <input type="checkbox"/> 食料 (インスタント・レトルト・缶詰など) 	<p>燃料・日用品など</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 食器 (スプーン・フォーク、割りばし・トレー皿、使い捨てコップ) <input type="checkbox"/> ラップ・アルミホイル <input type="checkbox"/> ナイフ・缶切り・栓抜き <input type="checkbox"/> カセットコンロ・カセットボンベ <input type="checkbox"/> アウトドア用品 (テント・寝袋など) <input type="checkbox"/> LEDランタン・乾電池・ライター <input type="checkbox"/> 梱包用ひも・風呂敷 <input type="checkbox"/> はさみ・カッター <input type="checkbox"/> 布製ガムテープ <input type="checkbox"/> 裁縫セット <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 洗面・風呂セット 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 段ボール箱・新聞紙・ゴム手袋 <input type="checkbox"/> ビニール袋・ゴミ袋・ブルーシート <input type="checkbox"/> トイレットペーパー・簡易トイレ <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ <input type="checkbox"/> ポリタンク (給水用)・台車 (運搬用)
---	---	---

「ローリングストック」を心がけましょう

備蓄食料・飲料水などは保存期限が切れる前に消費し、その分だけ新たに補充して常に一定量のストックがある状態を保つことをローリングストックといいます。定期的に古い備蓄品から消費することで無駄を出さず、また、いざというときに期限切れで使えなくなることを防ぎます。



ペットの安全を守るための備え

災害発生時にペットと一緒に避難所へ避難する場合、飼い主自身の事前の備えが重要です。避難所の居住スペースにペットを連れて入ることはできないため、ペットは専用のスペースにつないでいただき、その世話は飼い主の責任で行って下さい。

1 健康管理

普段から健康状態に注意し、清潔に保っておきましょう。

- 狂犬病予防注射の接種、鑑札、済票の装着
- 各種混合ワクチンの接種
- ノミ、ダニ予防 など

3 ペット用の避難用品や備蓄品の確保

避難所で当面の間必要になる物資を日ごろから用意して、すぐ持ち出せるようにしておきましょう。

- 薬 ● ペットフード、水 ● ケージ、キャリーバッグ
- 首輪、リード ● トイレ用品 ● 食器
- 飼い主の連絡先 ● ペットの写真 など

2 しつけ

基本的なしつけをしましょう。

- ゲージにはいることを嫌がらない
- 必要以上に吠えない
- 決められた場所で排せつする

4 逸走の防止と所有者明示

保護されたとき、すぐに飼い主が分かるように、所有者明示をしましょう。

※所有者明示の方法…連絡先を書いた迷子札やマイクロチップ、鑑札と済票など。

避難所での感染症対策について

避難所では感染症対策に努め、感染しない・させないようご協力をお願い致します。

また、感染症対策により避難所の受け入れが制限されている場合がありますので、親戚や知人宅への避難など岡山市が開設する避難場所兼避難所以外の避難先も検討しておきましょう。

避難所生活で気をつける4つのポイント

1 換気の悪い密閉空間

2方向の窓を、1回につき数分程度全開にしましょう。換気は1時間に2回以上が目安です。



密閉回避

3 間近で会話や発声をする密接場所

近距離での会話・発言は最低限に控えましょう。会話をするときは、十分な距離でマスクを着用しましょう。



密接回避

2 多数が集まる密集場所

避難者同士の距離を1メートル以上は保つようにしましょう。



密集回避

4 手洗いや咳エチケットの励行

避難所ではこまめに手洗い、咳をする時は、ハンカチ等で口を押さえて下さい。

